

春日警察署庁舎が航海(オープン)の日を迎えました



県運動場
船をモチーフとした建物構成



西側正面



エントランスホール

CONCEPT

春日警察署職員をクルーと考えます。
-警察活動による安全・安心なまちづくりの実現-
警察署は働く場としてだけでなく、職員の生活全般が営まれることから、職員を航海上の「クルー」と見立て、一致団結し安全・安心なまちづくりを実現する専門集団であると考えます。警察活動によって市民に訴えるメッセージとして、以下のキーワードを考えました。

- ① しっかりとした規律
- ② 平和を守る統率力(信頼感)
- ③ 地区を見渡す広い視野
- ④ 安心・安全を与える象徴性
- ⑤ 迅速な機動力

春日警察署＝「船」と考えます。

-特徴的で存在感のある施設づくりの実現-
活動する職員が「クルー」であるのに対して、活動拠点である春日警察署は「船」であると考えます。具体的なデザインモチーフのある、特徴的で存在感のある施設づくりを目指しました。船に見立てられ、新たに船出する警察署は、警察活動と共に、安全・安心なまちづくりを体現すべく、市民に愛され親しまれる警察署となることを期待する想いを託しました。

DATA

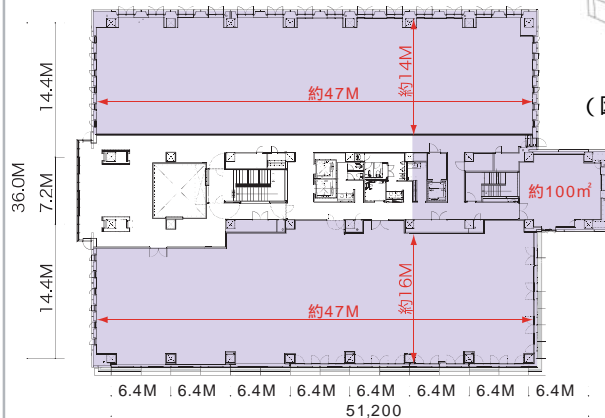
敷地面積	4,495.03㎡
建築面積	2,424.85㎡
延床面積	8,422.79㎡
建ぺい率	53.95%(許容60%)
容積率	166.92%(許容200%)
構造・規模	RC造 地上5階、杭基礎
最高高さ	25.63m
軒高	25.03m
階高	1階・5階4.50m、2～4階4.0m
天井高さ	3.00m、2.60m
主なスパン	14.4m×6.4m
設計期間	2011.07～2012.03
工事期間	2012.11～2014.03

PLAN



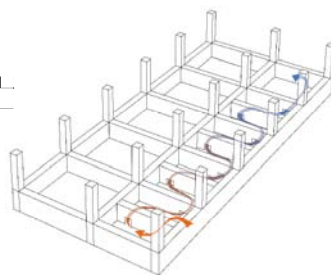
高層部平面 サイドコア形式

800㎡程度の執務室を確保し、共用部と共に採光・通風の確保が可能。

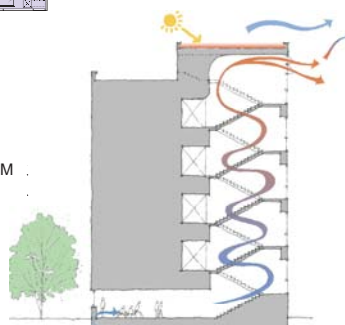


低層部平面 S=1:800 センターコア形式

1500㎡程の執務室を確保し、来客対応に必要な諸室配置を実現。



(図) クールピットイメージ



(図) ヒートチムニーイメージ

TOPICS

プレキャスト材の採用による長寿命化、熱負荷を考慮した室内環境計画。

躯体の長寿命化、使用材料の省資源化、フレキシビリティの高い超大スパンの実現、周辺環境への配慮を目的とし、コンクリート躯体ではプレキャストを採用しました。

1・2階共用部の外気導入では、地熱で予熱効果を活用することで、空調負荷を軽減する計画としています。地下ピット(クールピット)で夏場は冷やされ、冬場は暖められた外気を導入することで、空調機負荷を低減しました。

(図①)

階段室を使った重力換気により、自然換気を誘引することで、中間期における快適性を高め、空調期間の縮減をはかりました。(図②)

▶ <http://www.nissoken.co.jp>